

# 教育学研究科

		人材育成の目的	修了認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)	入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)
修士課程	学校教育実践専攻	<p>本研究科は、「学部における教員養成教育を基礎として、広い視野に立って精深な教育学的学識及び研究方法を授けるとともに、教育の場に関する理論と実践の研究能力及び専門性を高め、教員としての資質能力を向上させる」ことを教育目的としている。また、現在及び近未来における学校を取り巻く激しい社会的変動に対応できる的確な資質能力を有する学校教員の育成を目標としている。</p> <p>よって、本専攻では、発達途上にある子どもたちに対する専門的な立場からの理解力・実践的指導力の育成を基盤として、変化の時代に対応できる総合的な知識・技能を修得すると共に、現代的な教育課題に対応できる高度な専門性を有する実践的指導力、及び研究能力を育成する。</p>	<p><b>1.学位授与の要件</b></p> <p>(課程修了の要件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当該課程の標準修業年限2年以上在学し、各専修において定められた履修方法により32単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受け、修士論文の審査および最終試験(口述試験など)に合格すること。</li> <li>学位審査は、主査1名、副査2名以上により構成される研究指導・審査委員会により行われ、その報告を受けて研究科委員会での審議によって最終判定される。</li> </ul> <p>(履修方法)</p> <p>本専攻は、学校教育専修、特別支援教育専修、養護教育専修の3専修から構成されている。研究科共通の必修科目として、「教育実践共通科目」4単位、「授業実践研究」2単位、「教材開発」2単位、「課題研究／実践課題研究」4単位の12単位、選択必修科目として、「現代的教育課題に関する科目(4科目各2単位)」から2単位、選択科目として18単位を修得する。なお、選択科目の18単位の内訳は、各専修により以下のように異なる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>学校教育専修では、「学校教育に関する科目」から8単位以上、「教科教育に関する科目」から2単位以上、自由科目8単位の18単位である。</li> <li>特別支援教育専修では、「学校教育に関する科目」から4単位以上、「特別支援教育に関する科目」から10単位以上、自由科目4単位の18単位である。</li> <li>養護教育専修では、「学校教育に関する科目」から2単位以上、「養護教育に関する科目」から10単位以上、「教科教育に関する科目」から4単位、自由科目2単位の18単位である。</li> </ol>	<p><b>1.全体の方針</b></p> <p>本研究科は、広い視野に立って精深な教育学的学識及び研究方法を授けるとともに、教育の場に関する理論と実践の研究能力及び専門性を高め、教員としての資質能力を向上させることを教育目的としている。また、現在及び近未来における学校を取り巻く激しい社会的変動に対応できる的確な資質能力を有する学校教員の育成を目標としている。</p> <p>よって、本専攻では、発達途上にある子どもたちに対する専門的な立場からの理解力・実践的指導力の育成を基盤として、変化の時代に対応できる総合的な知識・技能を修得すると共に、現代的な教育課題に対応できる高度な専門性を有する実践的指導力、及び研究能力を育成するカリキュラムを編成する。</p>	<p>教育学研究科は、「実践性・学際性・現代性」という3つの理念に基づく教育課程の編成を通して、高度な実践的指導力を備えた学校教員等の養成を目的としています。この目的を達成するため、学部における教員養成教育を基礎として、地域的及び国際的な視野に立って精深な教育学的学識及び研究方法を授けるとともに、教育の場に関する理論と実践の研究能力及び専門性を高め、教員として必要な資質能力を向上させることを目標としています。以上のような人材養成の観点から、本研究科では、次のような人を広く求めます(「共通4項目」)。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>専門性の高い教員を目指す明確な意志を有する人</li> <li>教員に求められる必要な資質能力を有する人</li> <li>教育に関するより高度な研究への情熱を有する人</li> <li>実践的・学際的・現代的な教育的課題に強い関心を有する人</li> </ol> <p>本専攻は、学校教育、特別支援教育、養護教育に関わる高度な実践的指導力及び学際的・総合的指導力の養成を教育目的としています。この目的を達成するため、現代的教育課題に関する科目と学校教育や特別支援教育や養護教育に関する科目などを修得することで、教員としての必要な資質能力の向上を目標とします。したがって、本専攻では、上記の「共通4項目」に加えて、次のような人を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>学校教育、特別支援教育、養護教育に関する必要な学力(たとえば、教育職員免許法に記載されている科目等)を有する人</li> <li>学校教育、特別支援教育、養護教育における実践的・学際的・現代的研究に情熱を有する人</li> </ol>
			<p><b>2.修得すべき知識・能力</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>高度な専門的知識・技能及び研究力 <ul style="list-style-type: none"> <li>広い視野に立った精深な教育学的学識及び研究方法を修得している。</li> <li>教育の場に関する理論と実践の研究能力、及び高度な専門性を持っている。</li> <li>発達途上にある子どもたちに対する専門的な立場からの理解力・実践的指導力を持ち、現在及び近未来における学校を取り巻く激しい社会的変動に対応し、現代的教育課題を解決できる的確な知識、技能、実践力を有している。</li> </ul> </li> <li>学際的領域を理解できる深奥な教養力 <ul style="list-style-type: none"> <li>現代的教育課題に関する高度な知識を持ち、現代的教育課題を分析し、解決できる能力を持っている。</li> <li>いじめ・不登校、校内暴力等の今日的課題や情報ネット社会への対応力等、生徒指導に関わる実践力や集団指導力を持っている。</li> <li>豊かな人間性や社会性を育む対人関係能力、コミュニケーション能力を持つとともに、特別な教育的ニーズのある児童生徒に係わる特別支援教育の実践的指導力を持っている。</li> <li>先端的な教育内容・活動、及び教科横断的な教育システムにより、学校教員に必要とされる総合的な資質能力を持っている。</li> </ul> </li> <li>グローバルな視野と行動力 <ul style="list-style-type: none"> <li>現代的な教育課題を国際的視野と国際的感覚に基づいて解決できる能力を持っている。</li> <li>国際的に通用する専門的知識・技能及び自らの考えをもち、それらを専門家に対しても、一般の人々にも、明確に伝えることができるコミュニケーション能力を修得している。</li> <li>外国文献を読解する能力を修得している。</li> </ul> </li> <li>地域社会を牽引するリーダー力 <ul style="list-style-type: none"> <li>学校・地域社会の連携活動を指導的に推進する地域スクールリーダーとしての役割を果たすことができる。</li> <li>学校現場における先端的な生徒指導、生活指導、特別支援教育に係わるスクールリーダーとしての役割を果たすことができる。</li> <li>学校現場における課題の指摘、ならびに課題解決に向けた理論的知識を持っている。</li> <li>研究グループをコーディネートできる能力を持っている</li> </ul> </li> </ol>	<p><b>2.「修得すべき知識・能力」への対応</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>高度な専門的知識・技能及び研究力 <ul style="list-style-type: none"> <li>発達途上にある子どもたちに対する専門的な立場からの理解力・実践的指導力を持ち、現在及び近未来における学校を取り巻く状況に対応し、現代的教育課題を解決できる的確な知識、技能、実践力を育成する科目を設けると共に、広い視野に立った精深な教育学的学識及び研究方法を修得させるために修士論文を課す。さらに、附属学校園等との連携により、教育の場に関する理論と実践の研究能力、及び高度な専門性を身に付ける教育の機会を提供する。</li> </ul> </li> <li>学際的領域を理解できる深奥な教養力 <ul style="list-style-type: none"> <li>現代的教育課題に関する高度な知識を持ち、それらの課題を分析し、解決できる能力を育成するカリキュラムを編成する。具体的には、いじめ・不登校等の今日的課題や情報ネット社会への対応力、生徒指導に関わる実践力、対人関係能力、コミュニケーション能力、特別支援教育の実践的指導力等の育成を目指した科目を配置する。さらに、学校教員に必要とされる総合的な資質能力を育成するために、先端的な教育内容・活動、及び教科横断的な教育システムを提供する。</li> </ul> </li> <li>グローバルな視野と行動力 <ul style="list-style-type: none"> <li>現代的な教育課題を国際的視野と国際的感覚に基づいて解決できる能力や、外国文献を読解する能力を育成する教育の機会を提供する。国際的に通用する専門的知識・技能及び自らの考えをもち、それらを専門家に対しても、一般の人々にも、明確に伝えることができるコミュニケーション能力を修得するための実践的トレーニングを課す。</li> </ul> </li> <li>地域社会を牽引するリーダー力 <ul style="list-style-type: none"> <li>学校・地域社会の連携活動を指導的に推進する地域スクールリーダーや、学校現場における先端的な生徒指導、生活指導、特別支援教育に係わるスクールリーダーとしての役割を果たすことができる資質・能力を育成するカリキュラムを編成する。さらに、課題研究や修士論文を課すことにより、学校現場における課題の指摘、ならびに課題解決に向けた理論的知識を修得するとともに、研究グループをコーディネートできる能力を育成する。</li> </ul> </li> </ol>	

# 教育学研究科

		人材育成の目的	修了認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)	入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)
修士課程	教科教育実践専攻	<p>本研究科は、「学部における教員養成教育を基礎として、広い視野に立つて精深な教育学的学識及び研究方法を授けるとともに、教育の場に関する理論と実践の研究能力及び専門性を高め、教員としての資質能力を向上させる」ことを教育目的としている。また、現在及び近未来における学校を取り巻く激しい社会的変動に対応できる的確な資質能力を有する学校教員の育成を目標としている。</p> <p>よって、本専攻では、教科教育の専門的な立場からの理解力・実践的指導力の育成を基盤として、総合的な知識・技能を修得すると共に、現代的な教育課題に対応できる教科教育に関する高度な専門性を有する実践的指導力、及び研究能力を育成する。</p>	<p><b>1.学位授与の要件</b></p> <p>(課程修了の要件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該課程の標準修業年限2年以上在学し、各専修において定められた履修方法により32単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受け、修士論文の審査および最終試験(口述試験など)に合格すること。</li> <li>・学位審査は、主査1名、副査2名以上により構成される研究指導・審査委員会により行われ、その報告を受けて研究科委員会での審議によって最終判定される。</li> </ul> <p>(履修方法)</p> <p>研究科共通の必修科目として、「教育実践共通科目」4単位、「授業実践研究」2単位、「教材開発」2単位、「課題研究／実践課題研究」4単位の12単位、選択必修科目として、「現代的教育課題に関する科目(4科目各2単位)」から4単位、選択科目として、「教科教育に関する科目」から4単位以上、「教科内容に関する科目」から8単位以上、自由科目4単位の合計32単位以上を修得する。</p>	<p><b>1.全体の方針</b></p> <p>本研究科は、広い視野に立つて精深な教育学的学識及び研究方法を授けるとともに、教育の場に関する理論と実践の研究能力及び専門性を高め、教員としての資質能力を向上させることを教育目的としている。また、現在及び近未来における学校を取り巻く激しい社会的変動に対応できる的確な資質能力を有する学校教員の育成を目標としている。</p> <p>よって、本専攻では、教科教育の専門的な立場からの理解力・実践的指導力の育成を基盤として、総合的な知識・技能を修得すると共に、現代的な教育課題に対応できる教科教育に関する高度な専門性を有する実践的指導力、及び研究能力を育成するカリキュラムを編成する。</p>	<p>教育学研究科は、「実践性・学際性・現代性」という3つの理念に基づく教育課程の編成を通して、高度な実践的指導力を備えた学校教員等の養成を目的としています。この目的を達成するため、学部における教員養成教育を基礎として、地域的及び国際的な視野に立つて精深な教育学的学識及び研究方法を授けるとともに、教育の場に関する理論と実践の研究能力及び専門性を高め、教員として必要な資質能力を向上させることを目標としています。以上のような人材養成の観点から、本研究科では、次のような人を広く求めます(「共通4項目」)。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専門性の高い教員を目指す明確な意志を有する人</li> <li>2. 教員に求められる必要な資質能力を有する人</li> <li>3. 教育に関するより高度な研究への情熱を有する人</li> <li>4. 実践的・学際的・現代的な教育的課題に強い関心を有する人</li> </ol> <p>本専攻は、言語系教育、理数系教育、社会系教育、生活系教育、芸術・スポーツ系教育に関わる高度な実践的教科指導力及び学際的・総合的教科指導力の養成を教育目的としています。この目的を達成するため、現代的教育課題に関する科目と教科教育、教科内容に関する科目などを修得することで、教員としての必要な資質能力の向上を目標とします。したがって、本専攻では、上記の「共通4項目」に加えて、次のような人を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 言語系教育、理数系教育、社会系教育、生活系教育、芸術・スポーツ系教育に関する必要な学力(たとえば、教育職員免許法に記載されている科目等)を有する人</li> <li>2. 言語系教育、理数系教育、社会系教育、生活系教育、芸術・スポーツ系教育における実践的・学際的・現代的な研究に情熱を有する人</li> </ol>
		<p><b>2.修得すべき知識・能力</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.高度な専門的知識・技能及び研究力 <ul style="list-style-type: none"> <li>・広い視野に立つて精深な教育学的学識及び研究方法を修得している。</li> <li>・教育の場に関する理論と実践の研究能力、及び高度な専門性を持っている。</li> <li>・発達途上にある子どもたちに対する専門的な立場からの理解力・実践的指導力を持ち、現在及び近未来における学校を取り巻く激しい社会的変動に対応し、子どもたちの学ぶ意欲・学力の向上に資する探究的・創造的な教科指導力を修得している。</li> </ul> </li> <li>2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科教育実践専攻に設置される各専修においては、各専門教科に関わる高度な知識・技能の修得、及び教科横断的な学際的専門教育の理論と実践を通して、高度な実践的指導力を持っている。</li> <li>・知識基盤社会における教育内容・教育活動として重視される課題解決型学習及び探究活動並びに関連する授業設計・教材開発に関わる総合的・実践的な教科指導力を持っている。</li> <li>・専門的な教科指導力のほか、生徒指導・生活指導、特別支援教育に関わる知識・技能等を備えた、学校教員としての総合的な指導力を持っている。</li> </ul> </li> <li>3.グローバルな視野と行動力 <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代的な教育課題を国際的視野と国際的感覚に基づいて解決できる能力を持っている。</li> <li>・国際的に通用する専門的知識・技能及び自らの考えをもち、それらを専門家に対しても、一般の人々にも、明確に伝えることができるコミュニケーション能力を修得している。</li> <li>・外国文献を読解する能力を修得している。</li> </ul> </li> <li>4.地域社会を牽引するリーダー力 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校現場における先駆的な教科指導等に係わるスクールリーダーとしての役割を果たすことができる。</li> <li>・研究グループをコーディネートできる能力を持っている。</li> </ul> </li> </ol>	<p><b>2.「修得すべき知識・能力」への対応</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.高度な専門的知識・技能及び研究力 <ul style="list-style-type: none"> <li>発達途上にある子どもたちに対する専門的な立場からの理解力・実践的指導力を持ち、現在及び近未来における学校を取り巻く状況に対応し、子どもたちの学ぶ意欲・学力の向上に資する探究的・創造的な教科指導力を育成する科目を設けると共に、広い視野に立つた精深な教育学的学識及び研究方法を修得させるために修士論文を課す。さらに、附属学校園等との連携により、教育の場に関する理論と実践の研究能力、及び高度な専門性を身に付ける教育の機会を提供する。</li> </ul> </li> <li>2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 <ul style="list-style-type: none"> <li>各専修においては、各専門教科に関わる高度な知識・技能や高度な実践的指導力を育成するカリキュラムを編成する。具体的には、専門的な教科指導力のほか、生徒指導・生活指導、特別支援教育に関わる知識・技能等を備えた、学校教員としての総合的な指導力の育成を目指した科目を配置する。さらに、課題解決型学習及び探究活動並びに関連する授業設計・教材開発に関わる総合的・実践的な教科指導力に関わる教育を提供する。</li> </ul> </li> <li>3.グローバルな視野と行動力 <ul style="list-style-type: none"> <li>現代的な教育課題を国際的視野と国際的感覚に基づいて解決できる能力や、外国文献を読解する能力を育成する教育の機会を提供する。国際的に通用する専門的知識・技能及び自らの考えをもち、それらを専門家に対しても、一般の人々にも、明確に伝えることができるコミュニケーション能力を修得するための実践的トレーニングを課す。</li> </ul> </li> <li>4.地域社会を牽引するリーダー力 <ul style="list-style-type: none"> <li>学校現場における先駆的な教科指導等に係わるスクールリーダーとしての役割を果たすことができる資質・能力を育成するカリキュラムを編成する。さらに、課題研究や修士論文を課すことにより、学校現場における課題の指摘、ならびに課題解決に向けた理論的知識を修得するとともに、研究グループをコーディネートできる能力を育成する。</li> </ul> </li> </ol>		
教職大学院の課程	教職実践開発専攻	<p>本専攻は、学校や地域の教育における授業実践開発、生徒指導・教育相談、学級経営・学校経営に関わる総合的・統合的な力量及び時代の課題に即応した解決力の養成を目的とする。この目的を達成するため、現代的教育実践に求められる共通科目と、授業実践開発、生徒指導・教育相談、学級経営・学校経営に関する専門科目、教育現場での教育実践研究などを修得することで、教育現場において実践的指導力を発揮する教員としての必要な資質・能力の向上を目標とする。</p>	<p><b>1.学位授与の要件</b></p> <p>(課程修了の要件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該課程の標準修業年限2年以上在学し、共通科目22単位、教育実践研究科目10単位、専門科目16単位、合計48単位以上を修得すること。</li> <li>・研究報告書を作成し、教職実践開発専攻の審査委員会の審査に合格すると、本専攻を修了することができる。修了した者には、修士の学位が授与される。</li> </ul> <p>(履修方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通科目22単位、教育実践研究科目10単位、専門科目16単位、合計48単位以上を修得すること。</li> </ul>	<p><b>1.全体の方針</b></p> <p>本専攻は、「学校や地域の教育における授業実践開発、生徒指導・教育相談、学級経営・学校経営に関わる総合的・統合的な力量及び時代の課題に即応した解決力の養成」を目的としている。</p> <p>この目標を達成するために、教育実践に関する専門的知識・技能を深化させて資質・能力(コンピテンシー)を育成する研究、新しい分野の指導方法や学校・地域の課題解決法の開発、この研究力と開発力に支えられた高度な教育実践力をそなえた人材を育成するためのカリキュラムを編成する。</p>	<p>教育学研究科は、「実践性・学際性・現代性」という3つの理念に基づく教育課程の編成を通して、高度な実践的指導力を備えた学校教員等の養成を目的としています。この目的を達成するため、学部における教員養成教育を基礎として、地域的及び国際的な視野に立つて精深な教育学的学識及び研究方法を授けるとともに、教育の場に関する理論と実践の研究能力及び専門性を高め、教員として必要な資質能力を向上させることを目標としています。以上のような人材養成の観点から、本研究科では、次のような人を広く求めます(「共通4項目」)。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専門性の高い教員を目指す明確な意志を有する人</li> <li>2. 教員に求められる必要な資質能力を有する人</li> <li>3. 教育に関するより高度な研究への情熱を有する人</li> <li>4. 実践的・学際的・現代的な教育的課題に強い関心を有する人</li> </ol> <p>本専攻は、学校や地域の教育における授業実践開発、生徒指導・教育相談、学級経営・学校経営に関わる総合的・統合的な力量及び時代の課題に即応した解決力の養成を目的としています。この目的を達成するため、現代的教育実践に求められる共通科目と、授業実践開発、生徒指導・教育相談、学級経営・学校経営に関する専門科目などを修得することで、教育現場において実践的指導力を発揮する教員としての必要な資質能力の向上を目標としています。</p> <p>したがって、本専攻では、上記「共通4項目」に加えて、次のような人を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校や地域の教育における授業実践開発、生徒指導・教育相談、学級経営・学校経営に関する必要な学力を有する人</li> <li>2. 学校や地域の教育における授業実践開発、生徒指導・教育相談、学級経営・学校経営に関する現代的課題を総合的・統合的に解決しようとする意欲を有する人</li> <li>3. 学校教育現場における教育実践力及び研究開発力を兼ね備えた専門的能力を身につける意思を有する人</li> </ol>
		<p><b>2.修得すべき知識・能力</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.高度な専門的知識・技能及び研究力 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業実践、生徒指導・教育相談、学級経営・学校経営に関する高度な専門的知識と研究開発力を持っている。</li> <li>・教育現場でチームとしての仕事を組織しリーダーシップを発揮するための創造力、および学校改革のマネジメントに関与する能力を修得している。</li> </ul> </li> <li>2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の変化、教職科学の進歩、子どもの変容など幅広い課題に対応できる高度で普遍的な教養を身につけている。</li> <li>・教育関連諸科学の知見を動員して、教育現場の複雑な問題を解決する能力を修得している。</li> </ul> </li> <li>3.グローバルな視野と行動力 <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会が直面する教育問題に対応するための高度な専門知識と幅広い視野を有している。</li> <li>・授業・生徒指導・学級経営・学校経営などに学校現場における課題解決のための積極的な行動力を持ち、課題解決のためのコミュニケーション能力を持っている。</li> </ul> </li> <li>4.地域社会を牽引するリーダー力 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・地域・家庭との連携を密にして、学校と地域との交流を深め、地域の問題解決の方法を開発する能力を身につけている。</li> <li>・地域貢献に資する能力、および学校現場・地域における指導的人材として活躍できる。</li> </ul> </li> </ol>	<p><b>2.「修得すべき知識・能力」への対応</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.高度な専門的知識・技能及び研究力 <ul style="list-style-type: none"> <li>授業実践、生徒指導・教育相談、学級経営・学校経営に関する高度な専門的知識と研究開発力を持ち、教育現場でチームとしての仕事を組織しリーダーシップを発揮するための創造力、および学校改革のマネジメントに関与する能力を修得するためのカリキュラムを編成する。</li> </ul> </li> <li>2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 <ul style="list-style-type: none"> <li>現代社会の変化、教職科学の進歩、子どもの変容など幅広い課題に対応できる高度で普遍的な教養を身につけ、教育関連諸科学の知見を動員して、教育現場の複雑な問題を解決する能力を育成するカリキュラムを編成する。</li> </ul> </li> <li>3.グローバルな視野と行動力 <ul style="list-style-type: none"> <li>現代社会が直面する教育問題に対応するための高度な専門知識と幅広い視野を有し、授業・生徒指導・学級経営・学校経営などに学校現場における課題解決のための積極的な行動力を育成し、課題解決のためのコミュニケーション能力を育成するカリキュラムを編成する。</li> </ul> </li> <li>4.地域社会を牽引するリーダー力 <ul style="list-style-type: none"> <li>学校・地域・家庭との連携を密にして、学校と地域との交流を深め、地域の問題解決の方法を開発し、地域貢献に資する能力、および学校現場・地域における指導的人材として活躍する能力を育成するカリキュラムを編成する。</li> </ul> </li> </ol>		